

インテル® oneAPI DPC++互換性ツール サポートアプリ

DpctWin

ユーザーズマニュアル

# 目次

<b>第1章</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>1</b>
1.1	DpctWin について .....	1
1.2	アプリケーション構成 .....	1
1.3	動作環境.....	2
1.3.1	ソフトウェア要件 .....	2
1.3.2	動作仕様 .....	2
<b>第2章</b>	<b>機能一覧</b> .....	<b>3</b>
2.1	DpctWin をインストールする .....	3
2.2	DpctWin をアンインストールする .....	6
2.3	DpctWin の表示言語を選択する .....	6
2.4	変換する CUDA ファイルを選択する .....	7
2.4.1	変換する CUDA ファイルを登録する.....	7
2.4.2	登録した内容を変更する .....	8
2.4.3	登録した項目を削除する .....	9
2.5	CUDA ファイルから DPC++ファイルへ変換する.....	9
2.5.1	変換を開始する .....	9
2.5.2	変換を停止する .....	10
2.5.3	変換を一時停止/再開する .....	10
2.6	登録した内容をファイルに保存する .....	11
2.7	保存したファイルを読み込む.....	11
2.8	DpctWin の動作環境を設定する .....	12
2.9	DpctWin のバージョンを確認する .....	15
<b>第3章</b>	<b>画面一覧</b> .....	<b>16</b>
3.1	メイン画面.....	16
3.2	画面詳細.....	17
3.2.1	ツールバー.....	17
3.2.2	変換ウィンドウ.....	17
3.2.3	出力ウィンドウ.....	19
3.2.4	ステータスバー .....	20
<b>第4章</b>	<b>メニュー</b> .....	<b>21</b>
4.1	「ファイル」メニュー .....	21
4.2	「編集」メニュー.....	22
4.3	「変換」メニュー.....	22
4.4	「表示」メニュー.....	23
4.5	「ツール」メニュー.....	23
4.6	「ウィンドウ」メニュー .....	23
4.7	「ヘルプ」メニュー.....	24
<b>第5章</b>	<b>その他</b> .....	<b>25</b>
5.1	DpctWin の表示内容について .....	25
5.2	免責事項.....	25
5.3	問い合わせ .....	25

#### 更新履歴

バージョン	日付	変更内容
1.0.0	2022/01/27	新規作成

# 第1章 はじめに

本ドキュメントは、「インテル® oneAPI DPC++互換性ツール」サポートアプリケーション DpctWin のユーザーガイドです。

## 1.1 DpctWin について

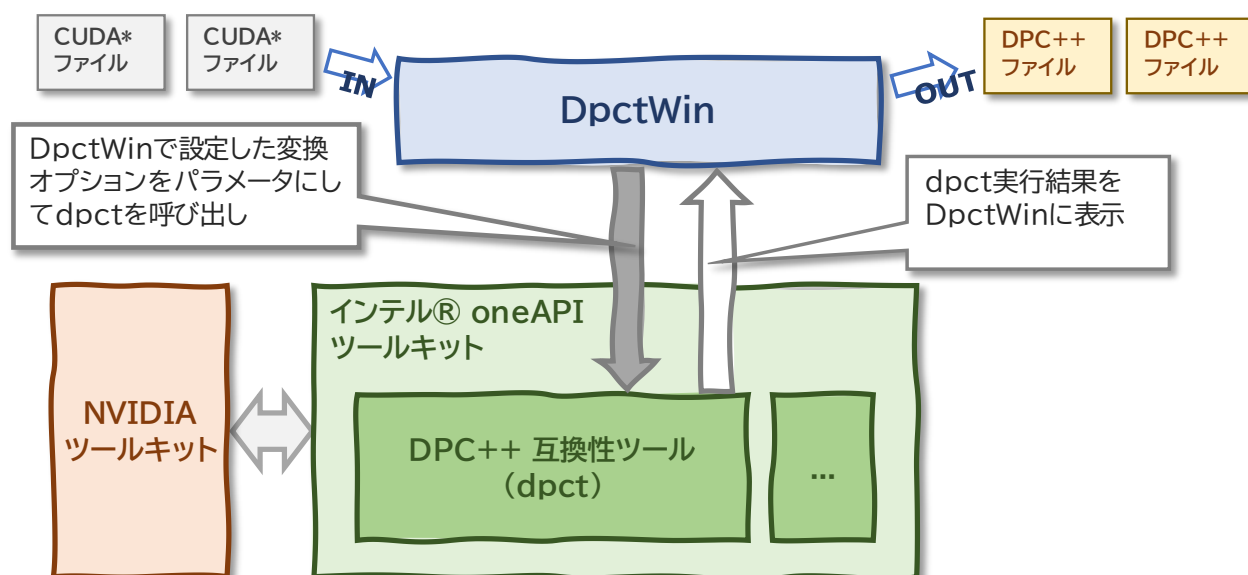
DpctWin は、インテル® oneAPI DPC++互換性ツール(dpct.exe、以降 dpct)を GUI 経由で操作する dpct のサポートアプリケーションです。インテル® oneAPI がインストールされていること前提です。

DpctWin は、インテル® oneAPI ライブラリを DpctWin のライブラリとして取り込んだり、独自の DPC++ファイル変換ロジックを組み込んでいません。DpctWin から dpct を起動して CUDA ファイルから DPC++ファイルへ変換を行います。

## 1.2 アプリケーション構成

DpctWin のアプリケーション構成(簡易)は以下の図を参照ください。

DpctWin.exe から dpct を起動して CUDA ファイルから DPC++ファイルへ変換を行います。



## 1.3 動作環境

### 1.3.1 ソフトウェア要件

DpctWin のソフトウェア要件について、基本的にインテル® oneAPI のソフトウェア要件に準じます。

項目	内容
CPU	インテル® oneAPI の要件に準じます
OS	インテル® oneAPI の要件に準じます(※64ビットのみ) ※Windows10 以外の OS は動作未確認です。
メモリ	インテル® oneAPI の動作仕様に準じます
ディスプレイ解像度	インテル® oneAPI の動作仕様に準じます 1024×768 以上のディスプレイの使用を推奨します。
インテル® oneAPI サポートバージョン	2021.03 2021.04 上記以外のバージョンは動作未確認です。
その他	NVIDIA CUDA Toolkit がインストールされている状況

### 1.3.2 動作仕様

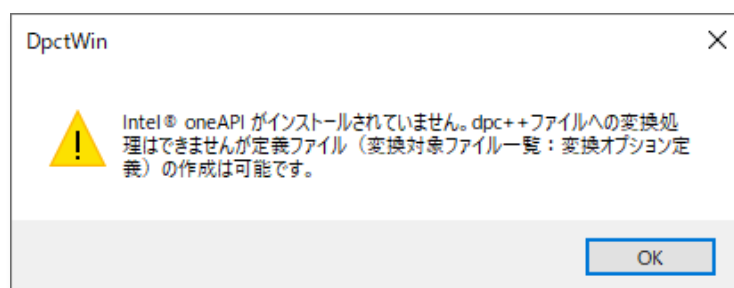
#### 1.3.2.1 DpctWin の複数起動について

DpctWin は複数起動しません。ひとつのアプリケーションのみ起動します。

#### 1.3.2.2 インテル® oneAPI がインストールされていない場合の動作について

インテル® oneAPI がインストールされていない場合の動作について、DpctWin は起動しますが DPC++ファイルへ変換はできません。変換メニューは無効になります。ただし、DpctWin の環境設定や対象ファイルの変換オプション編集、変換対象一覧ファイル(定義ファイル)の作成はできます。

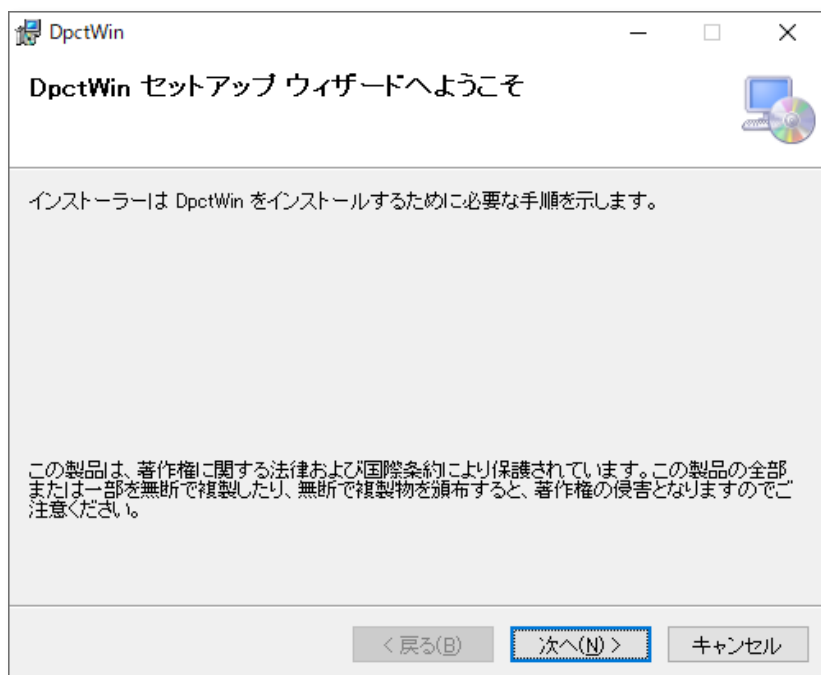
インテル® oneAPI がインストールされていない状態で DpctWin を起動すると、以下のポップアップが表示されます。



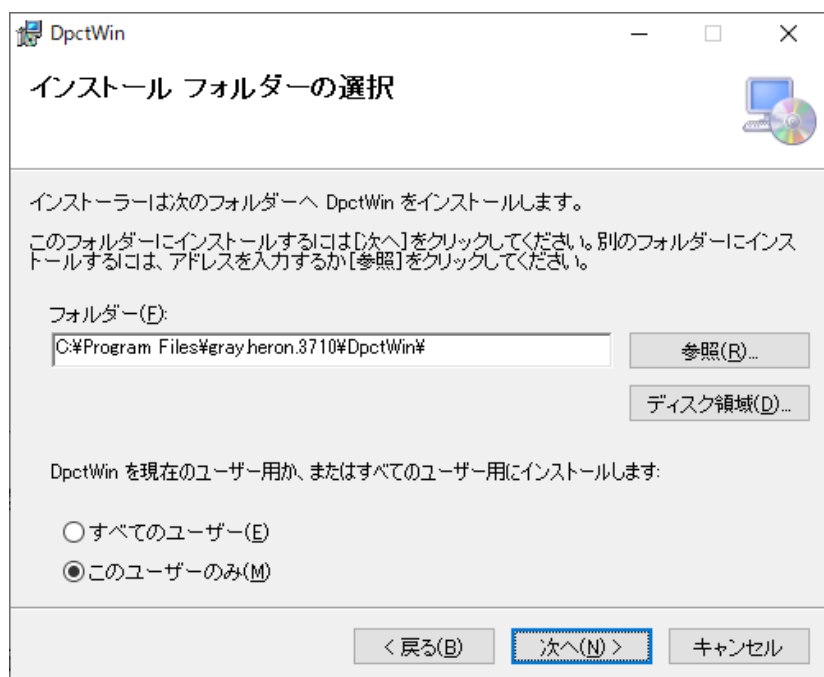
## 第2章 機能一覧

### 2.1 DpctWin をインストールする

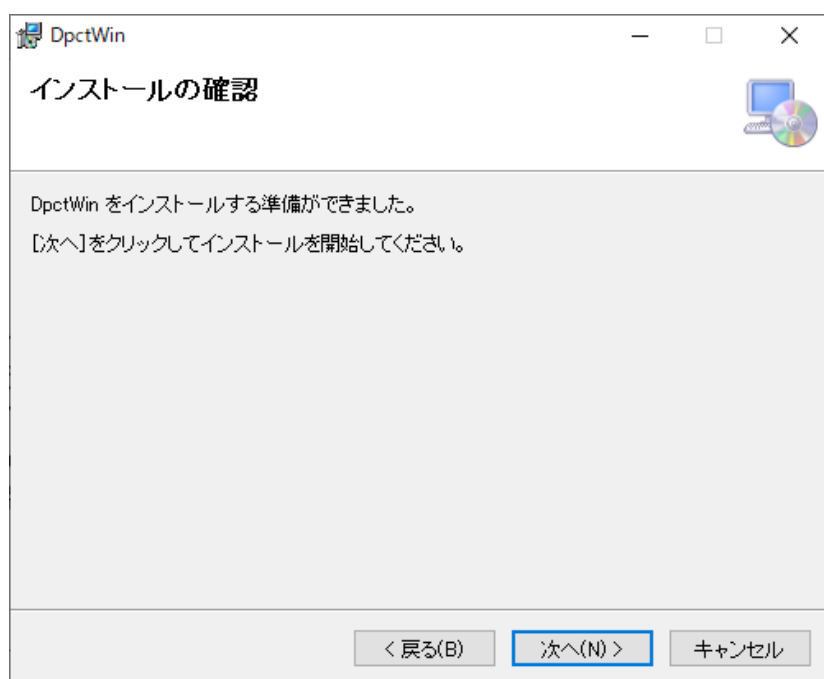
Setup.msi(もしくは Setup.exe)をクリックすると DpctWin のインストーラが起動します。



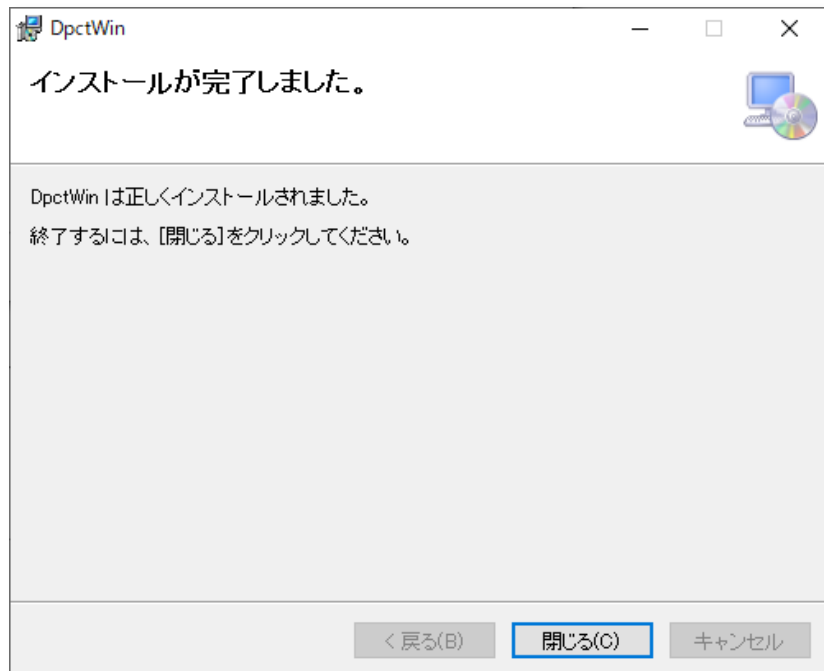
「次へ」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。インストール先のフォルダ、インストールユーザーを選択し「次へ」ボタンをクリックしてください。



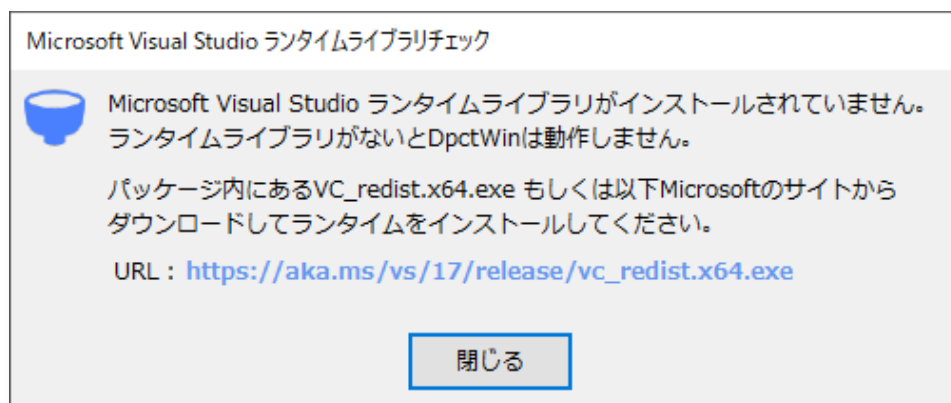
以下の画面が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックするとインストールが開始されます。



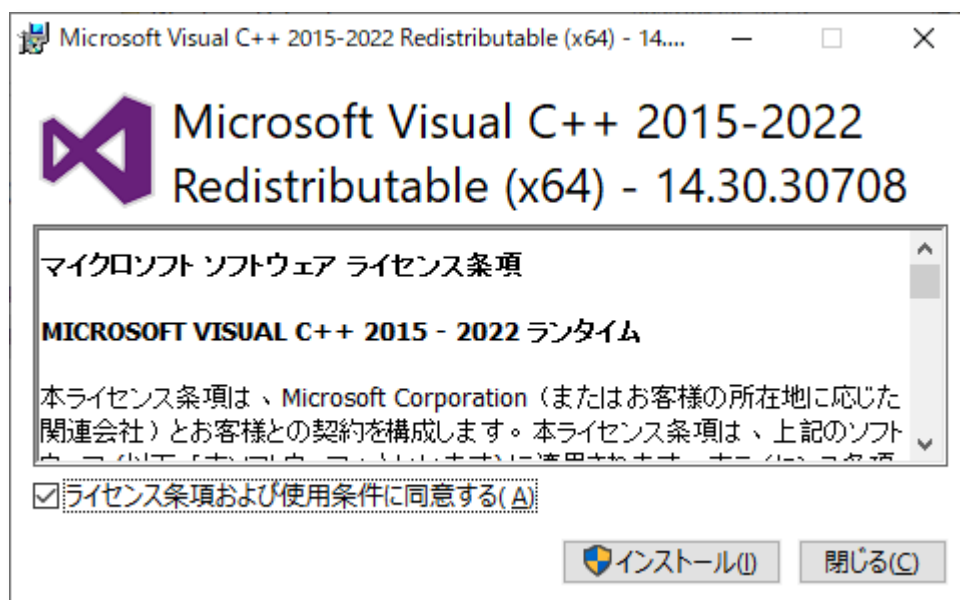
DpctWin がインストールされたことを確認します。「閉じる」ボタンをクリックしてインストーラを終了してください。



DpctWin は、Microsoft Visual Studio ランタイムライブラリがないと動作しません。ランタイムライブラリがインストールされていない場合は、ランタイムライブラリのインストールを促すポップアップが表示します。



DpctWin のインストーラパッケージの中にある VC\_redist.x64.exe、もしくは Microsoft のサイトからパッケージから vc\_redist.exe をダウンロードして、インストールを行ってください。URL は [https://aka.ms/vs/17/release/vc\\_redist.x64.exe](https://aka.ms/vs/17/release/vc_redist.x64.exe) です。





## 2.2 DpctWin をアンインストールする

DpctWin のアンインストールは、コントロールパネルから「プログラム」→「プログラムと機能」より DpctWin を選択して「アンインストール」をクリックしてください。DpctWin のアンインストールを行います。



## 2.3 DpctWin の表示言語を選択する

初回起動時、DpctWin の表示言語を選択するポップアップが表示します。表示可能な言語は、日本語、英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語です。いずれかの言語を選択してください。言語は起動後もオプション画面で変更が可能です。



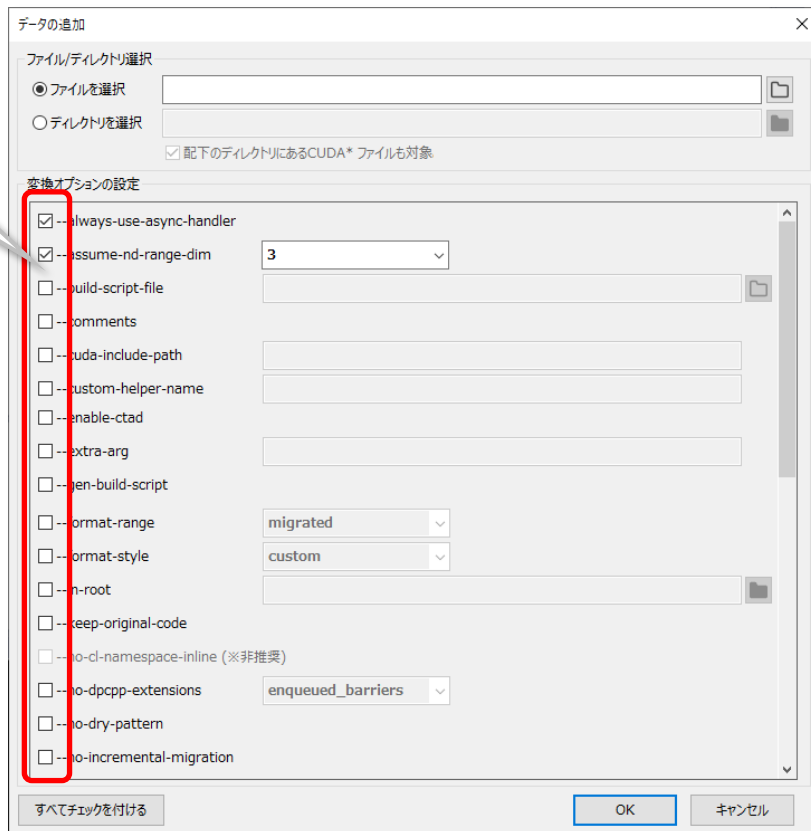
## 2.4 変換する CUDA ファイルを選択する

DPC++ファイルへ変換を行う CUDA ファイルの選択と dpct の変換オプションの指定を行います。

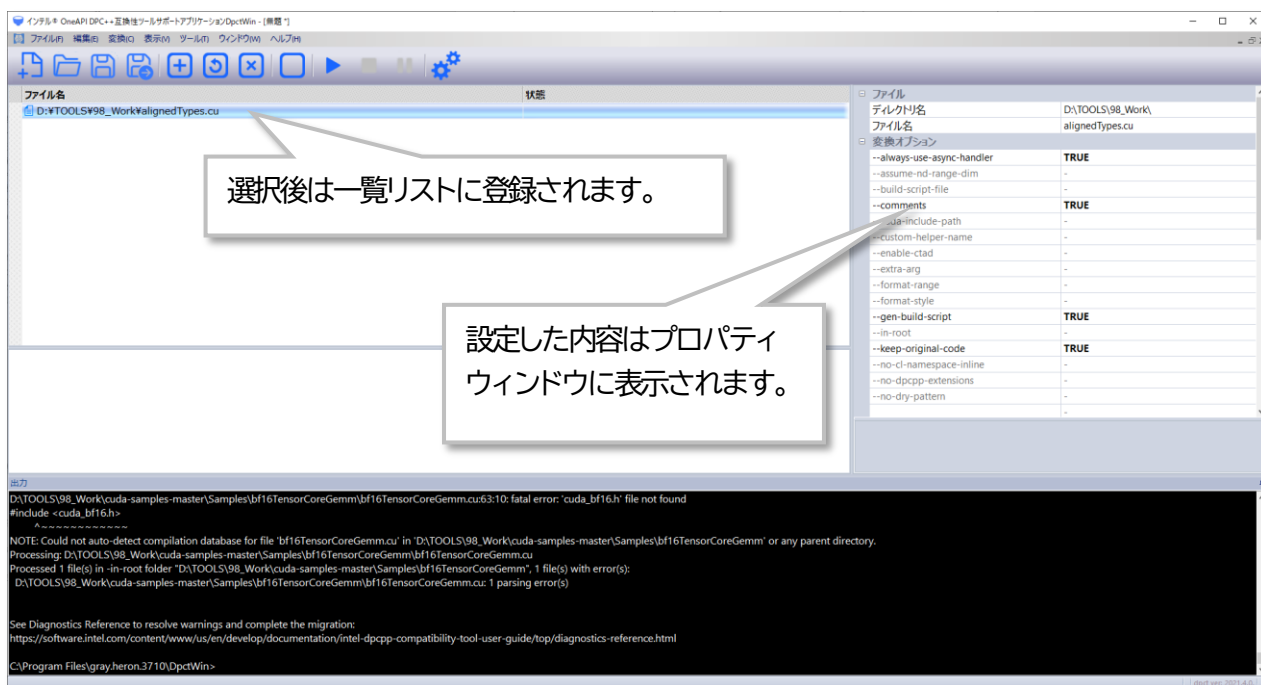
### 2.4.1 変換する CUDA ファイルを登録する

「編集」メニューの「CUDA ファイルをリストに追加」メニューを選択して、「データの追加」画面を起動します。変換を行うファイルもしくはディレクトリを選択します。登録した内容は一覧リストに表示されます。

チェックをつけた  
ものが有効になり  
ます。



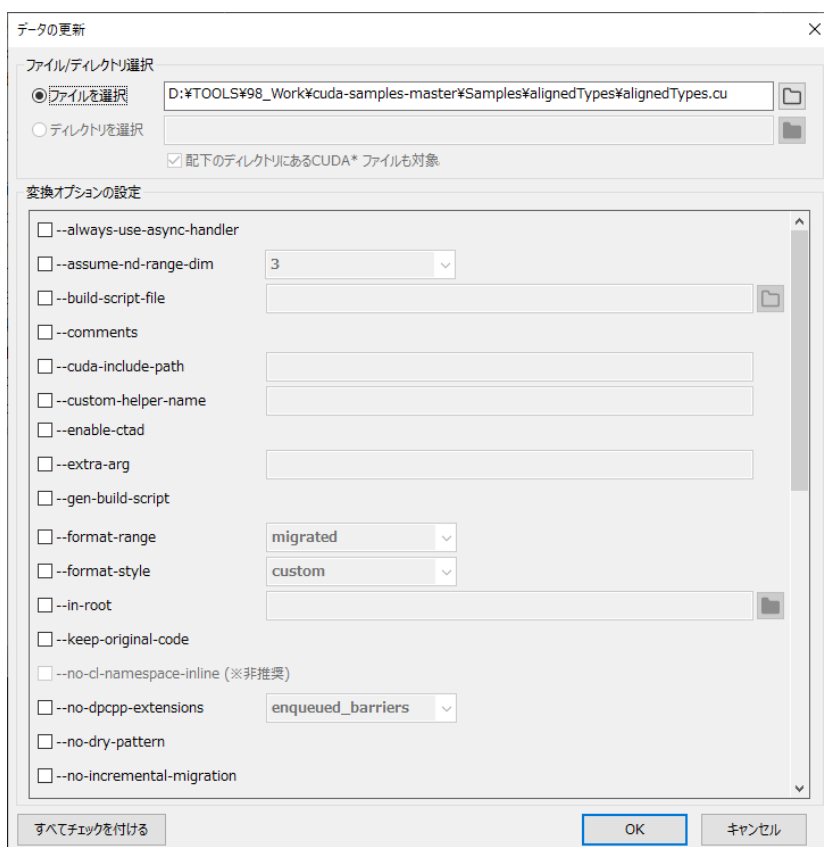
項目	内容
ファイル選択	変換するファイルを選択します。
ディレクトリ選択	ディレクトリを選択しディレクトリ内の CUDA ファイルを一括で選択します。 <b>※ディレクトリ選択時は個別のオプション設定はできません。</b>
配下のディレクトリにある CUDA*ファイルも対象	サブディレクトリ内にある CUDA ファイルも変換対象とするか選択できます。
変換オプションの設定	変換オプションを設定します。チェックを付けたものが有効になります。変換オプションは dpct で設定可能なオプションを定義できます。必要に応じてオプションのパラメータを入力・選択してください。 (「--version」や「--help」は対象外としています)
すべてチェックを付ける チェックをすべて解除する	変換オプションの項目すべてにチェック、もしくはチェックを外します。
「OK」ボタン	編集した内容で確定(登録)します。
「キャンセル」ボタン	編集した内容を破棄します。



## 2.4.2 登録した内容を変更する

「2.4.1 変換する CUDA ファイルを登録する」で一覧リストに登録した内容を変更します。

「編集」メニューの「選択した項目を更新」を選択して、「データの更新」画面を起動します。変換する CUDA ファイルやオプションの変更を行えます(ディレクトリ選択はできません)。



### 2.4.3 登録した項目を削除する

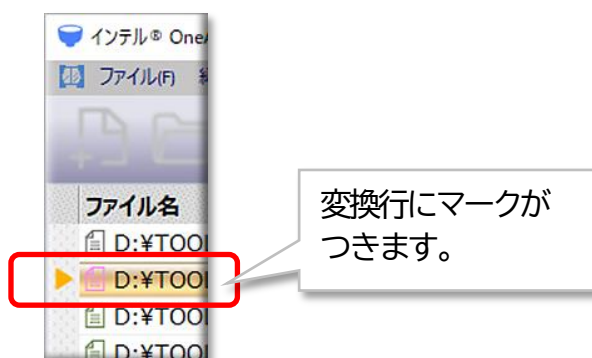
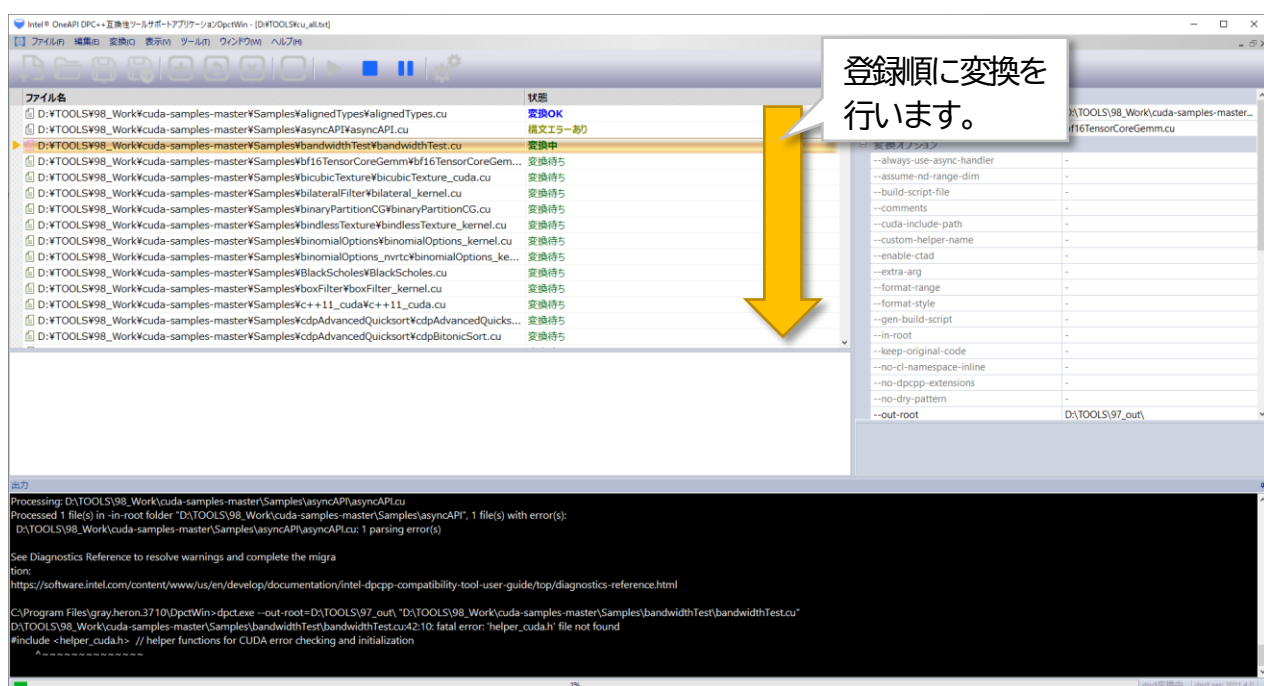
一覧リストに登録した項目を削除する場合は、「編集」メニューから「選択した項目を削除」もしくは「全ての項目を削除」を選択してください。「選択した項目を削除」一覧リストの選択行を、「全ての項目を削除」の場合は一覧リスト内の全てを削除します。

## 2.5 CUDA ファイルから DPC++ ファイルへ変換する

「2.4 変換するファイルを選択」で選択して一覧リストに登録した CUDA ファイルを DPC++ ファイルに変換を行います。

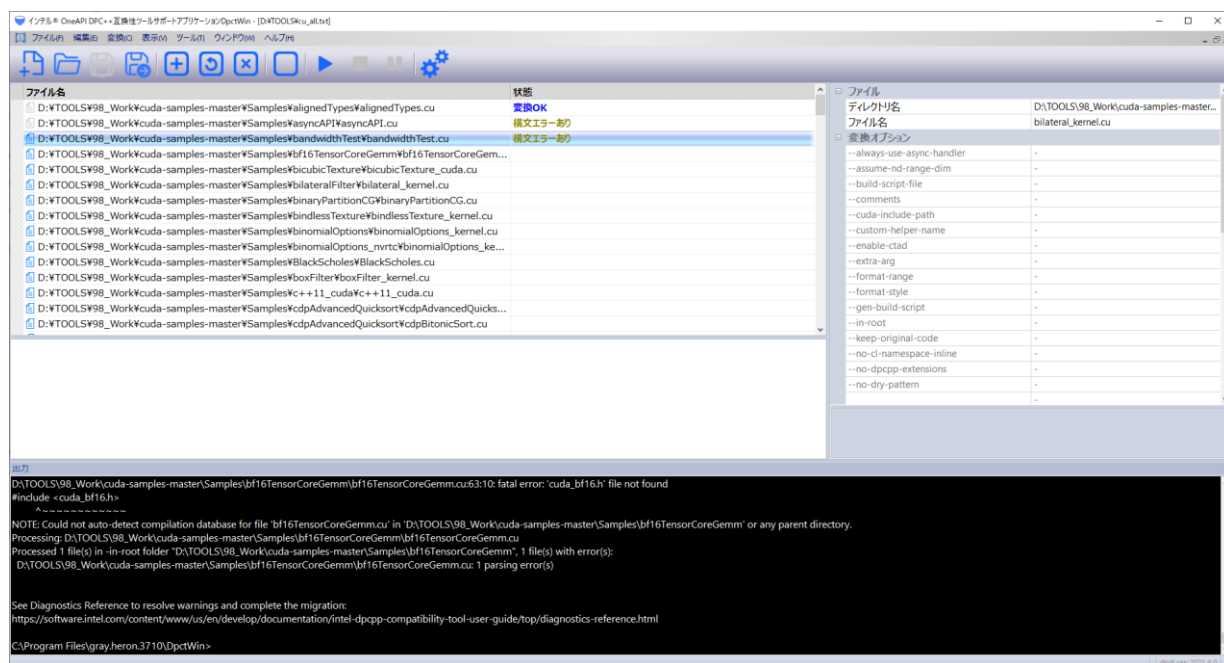
### 2.5.1 変換を開始する

一覧リストに登録している CUDA ファイルを DPC++ ファイルへ変換を行います。変換の順番は、一覧リストに登録している順(上から下)に行います。変換中の行は印とカーソル



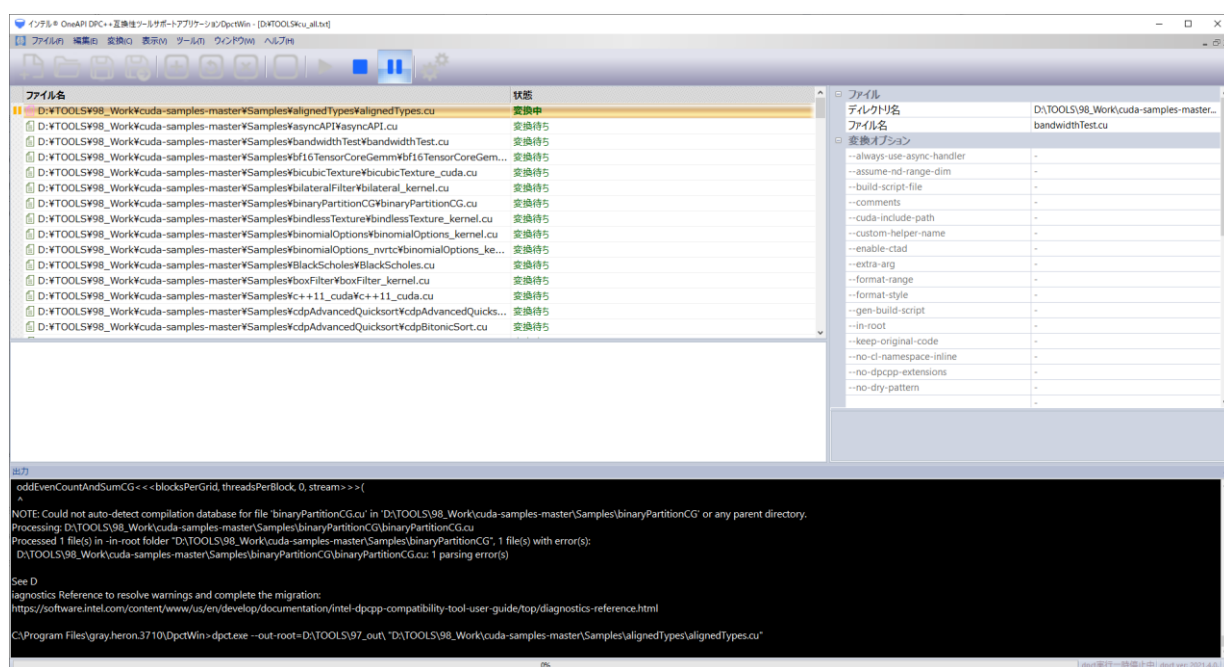
## 2.5.2 変換を停止する

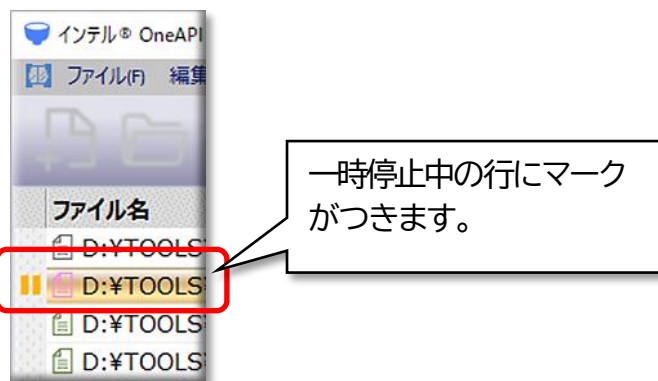
変換中の動作を停止します。「変換」メニューの「停止」をクリックすると、変換停止を停止します。一時停止中の状態で「一時停止」をクリックすると変換処理を再開します。



## 2.5.3 変換を一時停止/再開する

変換中の動作を一時的に停止します。変換中に、「変換」メニューから「変換一時停止/再開」メニューをクリックすると、dpct の動作を停止し再開待ち状態(もしくは停止待ち)に遷移します。一時停止の状態再度「一時停止」メニューをクリックすると変換処理を再開します。

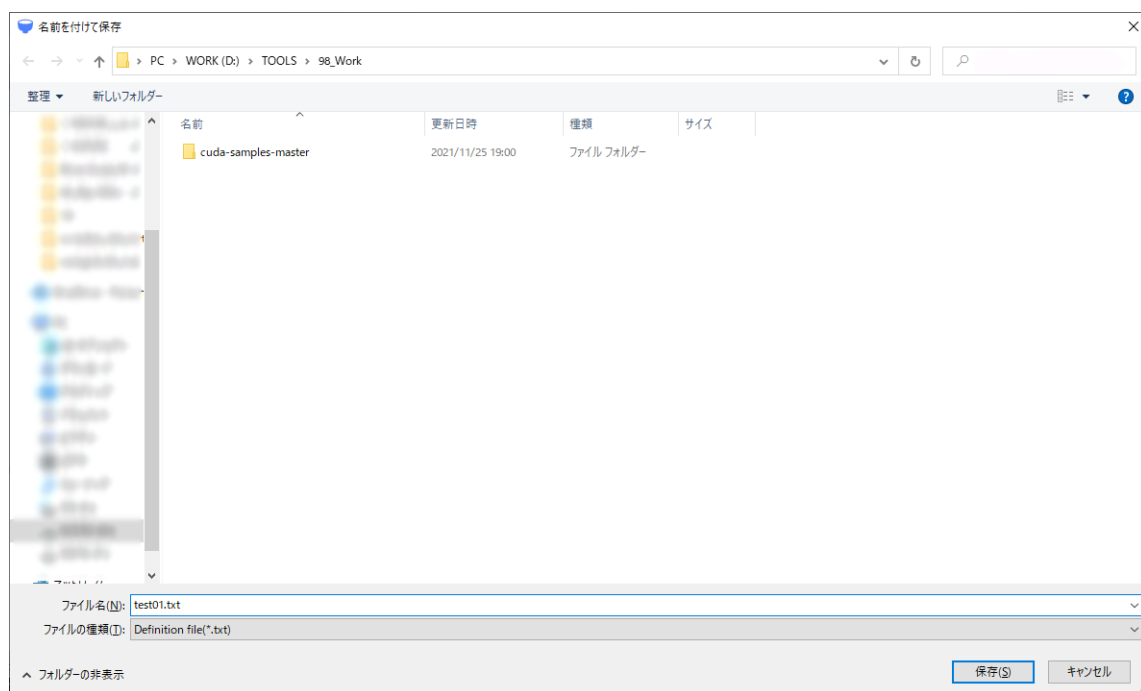




## 2.6 登録した内容をファイルに保存する

「変換するファイルを選択する」で一覧リストに登録したファイルならびに dpct への変換オプションの情報をファイル(定義ファイル)に保存します。保存したファイルは、DpctWin で読み込み、DPC++ファイルへの変換を行うことができます。

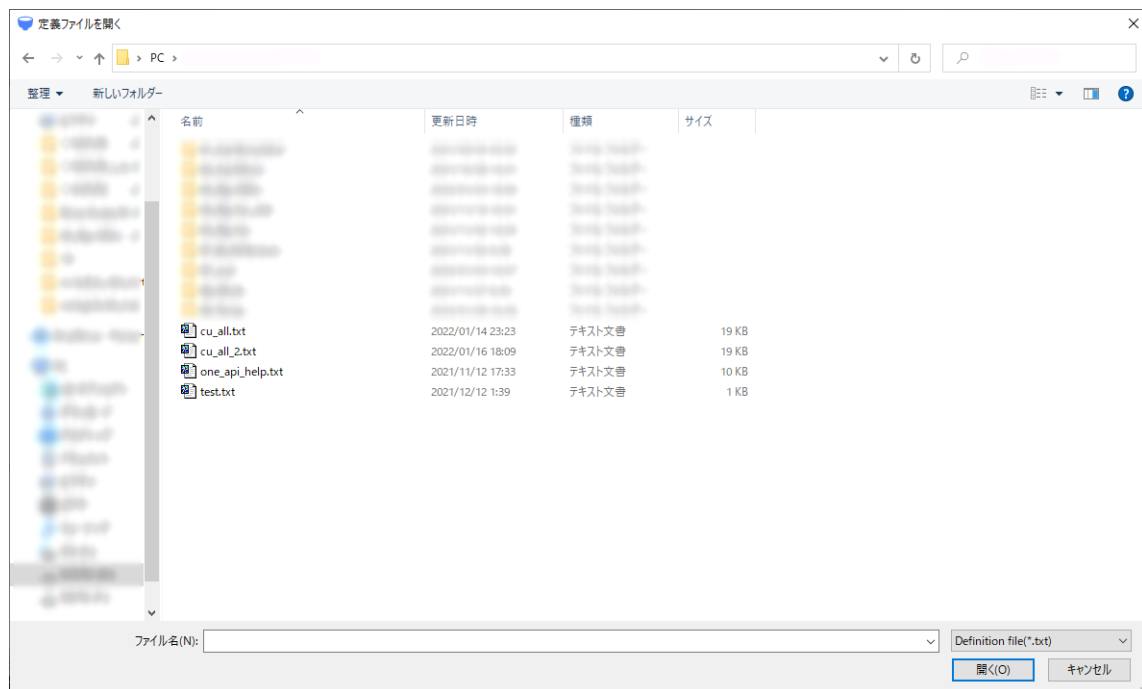
「ファイル」メニューの「定義ファイルの保存」メニューもしくは「名前を付けて保存」メニューをクリックすると、ファイル保存画面が開きますので保存するファイル名を指定してください。



## 2.7 保存したファイルを読み込む

「2.6 登録した内容をファイルに保存する」で保存したファイル(定義ファイル)は、DpctWin で画面に表示、変換の実行が可能です。

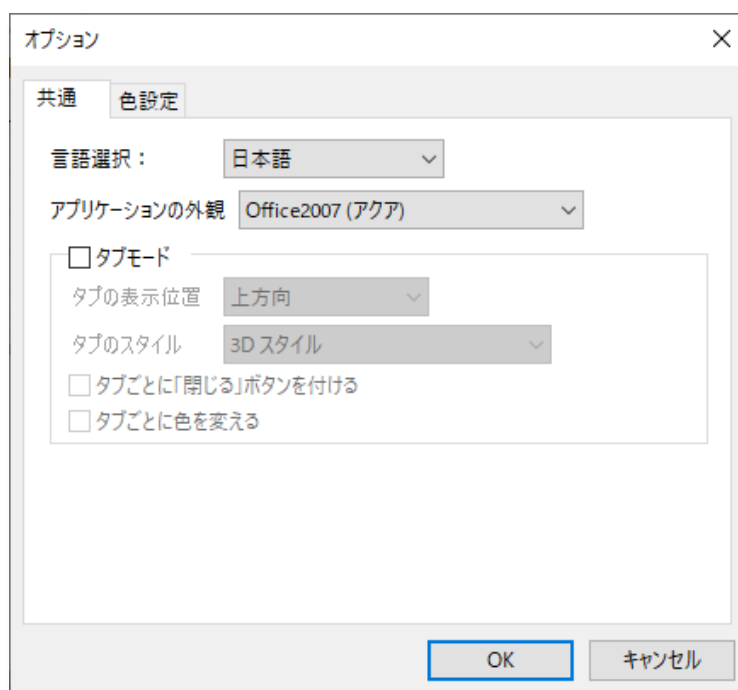
「ファイル」メニューの「定義ファイルを開く」をクリックすると、ファイル選択画面が開きますので読み込むファイルを指定してください。新規に画面が開いてファイルの内容が展開されます。



## 2.8 DpctWin の動作環境を設定する

DpctWin の各ウィンドウの表示色やタブ、表示言語を変更することができます。「ツール」メニューの「オプション」を選択するとオプション画面が起動します。

・「共通」タブ



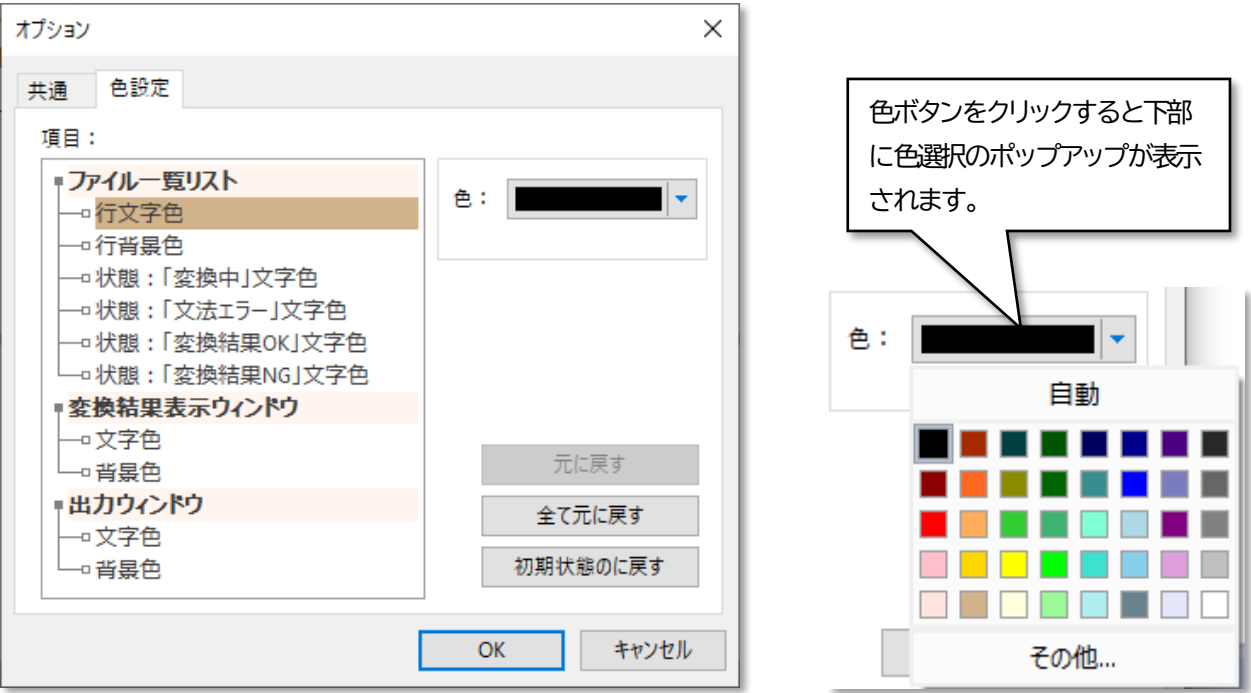


項目	内容	初期値
言語選択	DpctWin の表示言語を選択します。選択した言語は、DpctWin 再起動後に有効になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語</li> <li>・ 英語</li> <li>・ 中国語(簡体字)</li> <li>・ 中国語(繁体字)</li> <li>・ 韓国語</li> </ul>	日本語
アプリケーションの外観	アプリケーションの外観を選択します。以下のビジュアルスタイルから選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows XP スタイル</li> <li>・ Windows 7 スタイル</li> <li>・ Windows 2000 スタイル</li> <li>・ Visual Studio 2005 スタイル</li> <li>・ Visual Studio 2008 スタイル</li> <li>・ Office XP スタイル</li> <li>・ Office 2003 スタイル</li> <li>・ Office 2007 スタイル (Blue/Black/Silver/Aqua)</li> </ul>	Office 2007 (Aqua)
タブモード	変換対象ウィンドウをデフォルトスタイルにするか MDI タブスタイルにするか選択します。	デフォルトスタイル
タブの表示位置	タブの表示位置を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上方向</li> <li>・ 下方向</li> </ul>	上方向 (タブモード有効時)
タブのスタイル	タブのスタイルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3D スタイル</li> <li>・ Microsoft OneNote スタイル</li> <li>・ Microsoft Visual Studio 2005 スタイル</li> <li>・ タブラベル付きスタイル</li> <li>・ 水平スクロールバーフラットスタイル</li> <li>・ 丸いタブラベル付きスタイル</li> </ul>	3D スタイル (タブモード有効時)
タブごとに「閉じる」ボタンを付ける	タブに「閉じる」ボタンを付けるかどうかを選択します。	ボタンなし (タブモード有効時)
タブごとに色を変える	タブごとにタブ色を変更するかどうかを選択します。	色変更なし (タブモード有効時)



第2章機能一覧

・「色設定」タブ

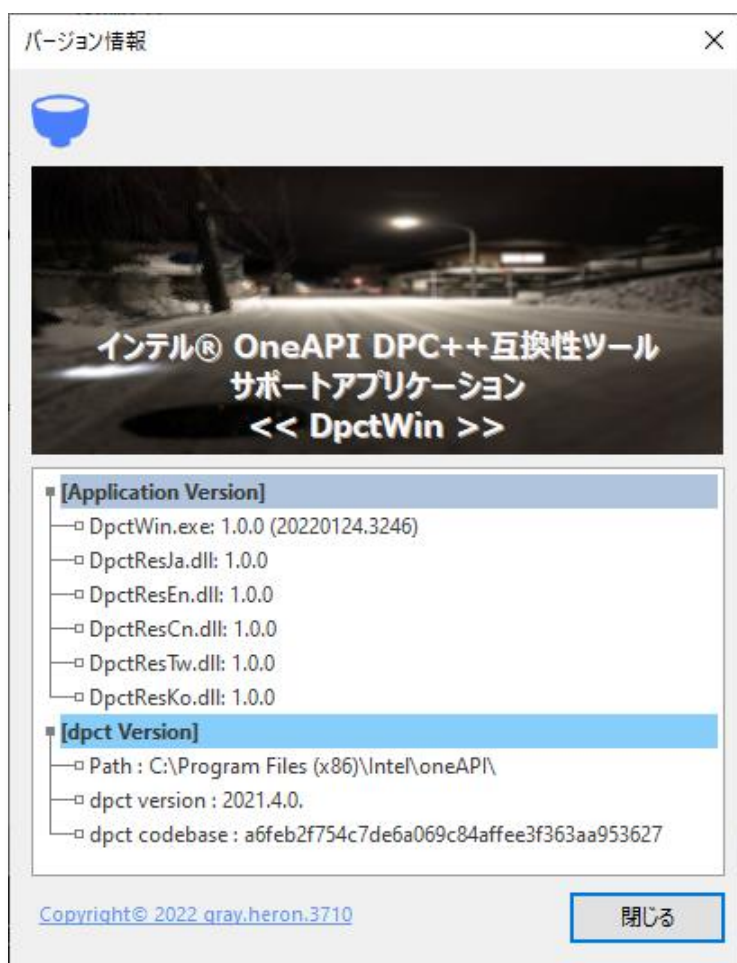


項目		内容	初期色
ファイル一覧リスト			
行	文字色	通常時の行文字列を選択します。	※
	背景色	通常時の行背景色を選択します。	※
状態	「変換中」文字色	変換行の文字色を選択します。	暗緑色
	「文法エラー」文字色	変換結果が「文法エラー (Parse Error)」行の文字色を変更します。	暗黄色
	「変換結果 OK」文字色	変換結果が「OK」行の文字色を変更します。	青
	「変換結果 NG」文字色	変換結果が「NG」行の文字色を変更します。	赤
変換結果ウィンドウ			
	文字色	文字色を選択します。	黒
	背景色	背景色を選択します。	白
出力ウィンドウ			
	文字色	文字色を選択します。	白
	背景色	背景色を選択します。	黒
「元に戻す」ボタン		リスト選択項目の色を設定前の色に戻します。	
「全て元に戻す」ボタン		画面内の全ての項目を設定前の色に戻します。	
初期状態に戻す		全ての項目を初期色に戻します。	

※Windows のシステム色によって異なります。

## 2.9 DpctWin のバージョンを確認する

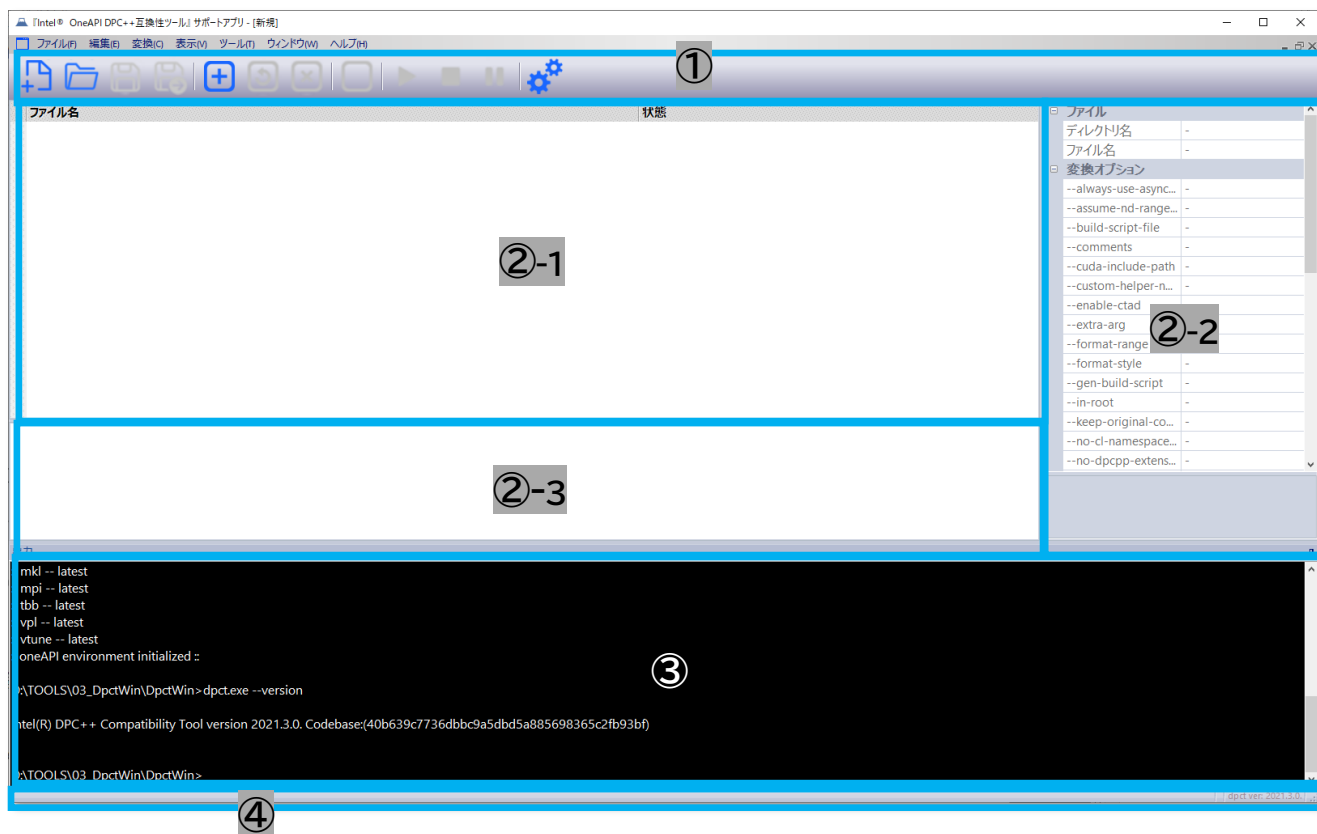
「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」メニューをクリックすると、DpctWin のバージョンや言語ライブラリのバージョン、またインテル® oneAPI のインストール有無や dpct のバージョンを確認できるバージョン情報画面を表示します。



## 第3章 画面一覧

### 3.1 メイン画面

DpctWin のメイン画面です。



No	名称
①	ツールバー
②	変換ウィンドウ
	1 一覧リスト
	2 プロパティウィンドウ
	3 変換結果表示ウィンドウ
③	出力ウィンドウ
④	ステータスバー

## 3.2 画面詳細

### 3.2.1 ツールバー

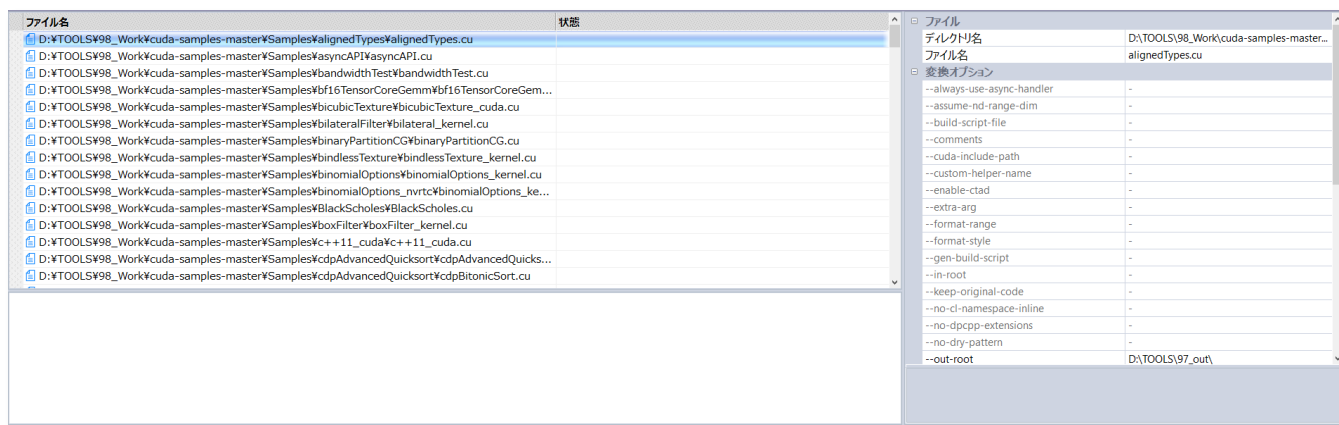
DpctWin の主要機能をツールバーのボタンに配置しています。各ボタンの詳細については、表 3.2.1 の「章」欄に記載されている章を参照ください。



No	機能(ボタン)ボタン名
①	新規作成
②	定義ファイルを開く
③	上書き保存
④	名前を付けて保存
⑤	CUDA ファイルをリストに追加
⑥	選択したリスト項目を更新
⑦	選択した項目を削除
⑧	全ての項目を削除
⑨	変換開始
⑩	変換停止
⑪	変換一時停止／再開
⑫	オプション

### 3.2.2 変換ウィンドウ

CUDA ファイルから DPC++ファイルへ変換を行うファイルの一覧ウィンドウです。



### 3.2.2.1 一覧リスト

変換対象ファイルならびにその状態を表示する一覧リストです。1 列目に登録したファイル名を、2 列目に変換結果や変換中の状態を表示します。

#### ➤ 未変換時の一覧リスト

ファイル名	状態
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\alignedTypes\alignedTypes.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\asyncAPI\asyncAPI.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\bandwidthTest\bandwidthTest.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\bf16TensorCoreGemm\bf16TensorCoreGem...	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\bicubicTexture\bicubicTexture_cuda.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\bilateralFilter\bilateral_kernel.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\binaryPartitionCG\binaryPartitionCG.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\bindlessTexture\bindlessTexture_kernel.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\binomialOptions\binomialOptions_kernel.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\binomialOptions_nvrtc\binomialOptions_ke...	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\BlackScholes\BlackScholes.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\boxFilter\boxFilter_kernel.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\c++11_cuda\c++11_cuda.cu	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\cdpAdvancedQuicksort\cdpAdvancedQuicks...	
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\cdpAdvancedQuicksort\cdpBitonicSort.cu	

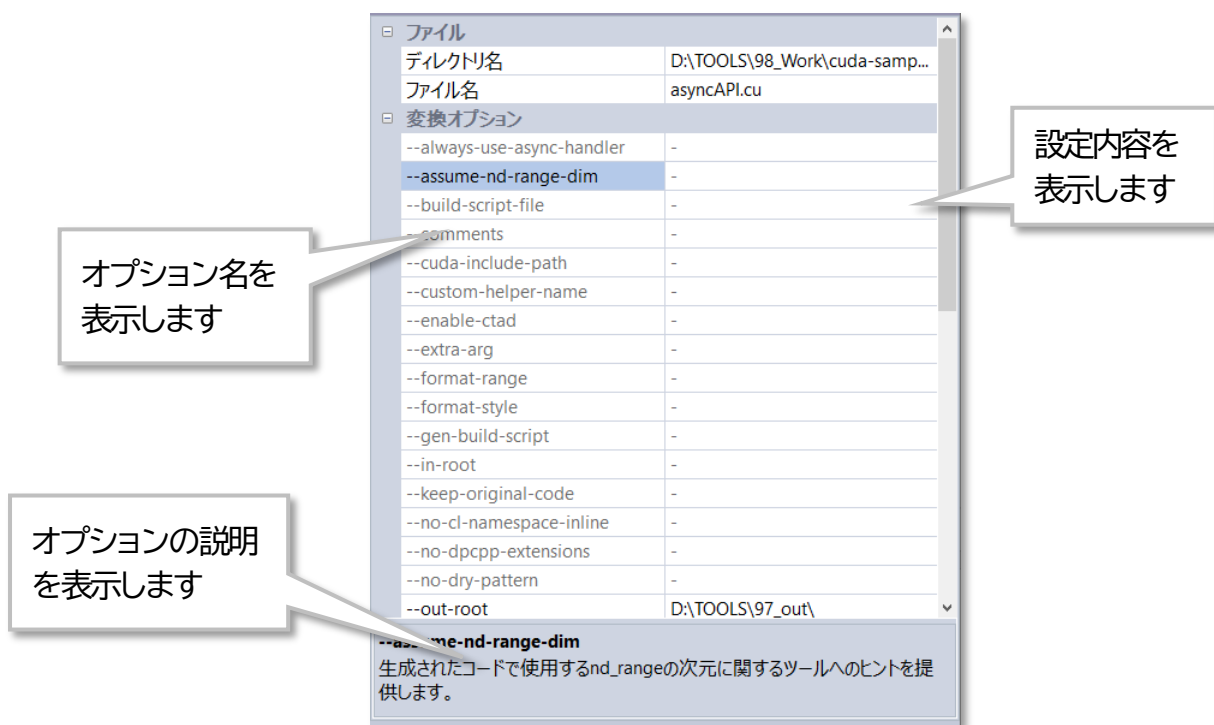
#### ➤ 変換中の一覧リスト

ファイル名	状態
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\alignedTypes\alignedTypes.cu	変換OK
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\asyncAPI\asyncAPI.cu	構文エラーあり
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\bandwidthTest\bandwidthTest.cu	構文エラーあり
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\bf16TensorCoreGemm\bf16TensorCoreGem...	構文エラーあり
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\bicubicTexture\bicubicTexture_cuda.cu	構文エラーあり
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\bilateralFilter\bilateral_kernel.cu	変換NG
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\binaryPartitionCG\binaryPartitionCG.cu	構文エラーあり
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\bindlessTexture\bindlessTexture_kernel.cu	構文エラーあり
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\binomialOptions\binomialOptions_kernel.cu	構文エラーあり
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\binomialOptions_nvrtc\binomialOptions_ke...	変換OK
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\BlackScholes\BlackScholes.cu	構文エラーあり
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\boxFilter\boxFilter_kernel.cu	構文エラーあり
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\c++11_cuda\c++11_cuda.cu	変換NG
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\cdpAdvancedQuicksort\cdpAdvancedQuicks...	変換OK
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\cdpAdvancedQuicksort\cdpBitonicSort.cu	変換OK

変換状態、変換結果を表示します

### 3.2.2.2 プロパティウィンドウ

変換対象ファイル一覧リストで選択している項目の情報を表示します。ウィンドウ上部には設定項目を、ウィンドウ下部には選択しているオプション項目の概要が表示されます。



### 3.2.2.3 変換結果ウィンドウ

DPC++ファイル変換実行時の出力結果を表示します。

```
dpct.exe --out-root=D:\TOOLS\97_out\ "D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\asyncAPI\asyncAPI.cu"
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\asyncAPI\asyncAPI.cu:44:10: fatal error: 'helper_cuda.h' file not found
#include <helper_cuda.h>
      ^
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\asyncAPI\asyncAPI.cu:109:3: warning: DPCT1049:1: The workgroup size passed to the SYCL kernel may
exceed the limit. To get the device limit, query info::device::max_work_group_size. Adjust the workgroup size if needed.
    increment_kernel<<<blocks, threads, 0, 0>>>(d_a, value);
    ^
NOTE: Could not auto-detect compilation database for file 'asvncAPI.cu' in 'D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\asvncAPI' or any parent
```

### 3.2.3 出力ウィンドウ

oneAPI パス設定バッチファイル(setvars.bat)実行時のログや DPC++ファイル変換実行時の出力結果を表示します。

```
dpct.exe --out-root=D:\TOOLS\97_out\ "D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\cppOverload\cppOverload.cu"
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\cppOverload\cppOverload.cu:1:1: fatal error: 'helper_cuda.h' file not found
NOTE: Could not auto-detect compilation database for file 'cppOverload.cu' in 'D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\cppOverload' or any parent directory.
Processing: D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\cppOverload\cppOverload.cu
Processed 2 file(s) in -in-root folder "D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\cppOverload", 1 file(s) with error(s):
D:\TOOLS\98_Work\cuda-samples-master\Samples\cppOverload\cppOverload.cu: 1 parsing error(s)

See Diagnostics Reference to resolve warnings and complete the migration:
https://software.intel.com/content/www/us/en/develop/documentation/intel-dpcpp-compatibility-tool-user-guide/top/diagnostics-reference.html
D:\TOOLS\03_DpctWin\DpctWin>
```

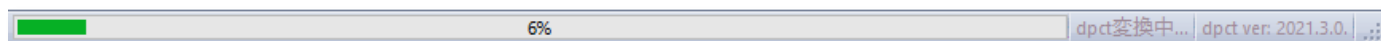
## 3.2.4 ステータスバー

dpct のバージョンや動作状態を表示します。

### ・変換未実行時



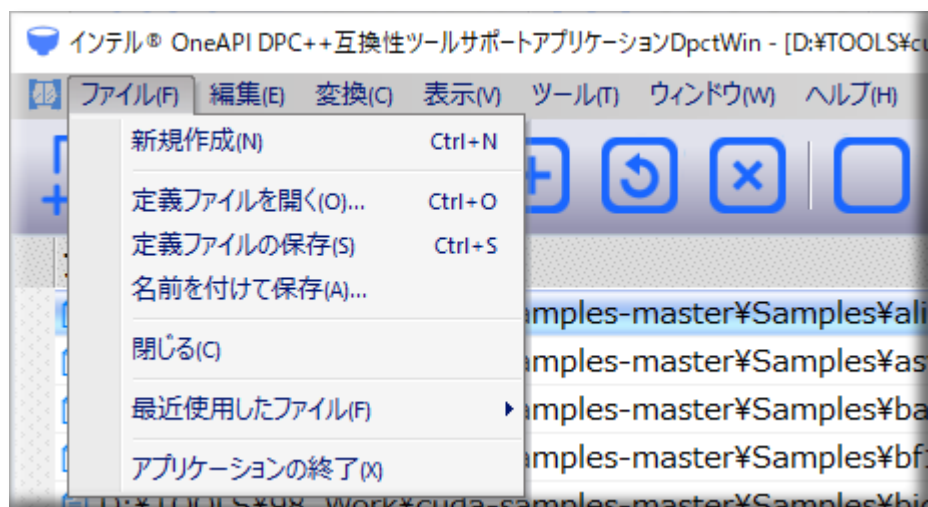
### ・変換実行中



## 第4章 メニュー

### 4.1 「ファイル」メニュー

ファイル操作ならびにアプリケーションの終了を行うメニュー群です。



#### 1. 新規作成

新規にウィンドウを作成します。DPC++ファイルへの変換はこのウィンドウ単位で行います。

#### 2. 定義ファイルを開く

DpctWin で保存した定義ファイルをオープンして、新規ウィンドウに内容を展開します。

#### 3. 定義ファイルの保存

追加／更新した情報を定義ファイルに上書き保存します。保存していない場合は名前を付けて保存します。

#### 4. 名前を付けて保存

定義ファイルを別の名前で保存します。

#### 5. 閉じる

前面に表示しているウィンドウを閉じます。編集集中でファイル保存していない場合は、ファイル保存の確認を行います。

#### 6. 最近使ったファイル

読み込んだ、もしくは保存したファイルを最大16ファイル分履歴として管理します。最後に読み込んだファイルが一番上のメニューに配置します。

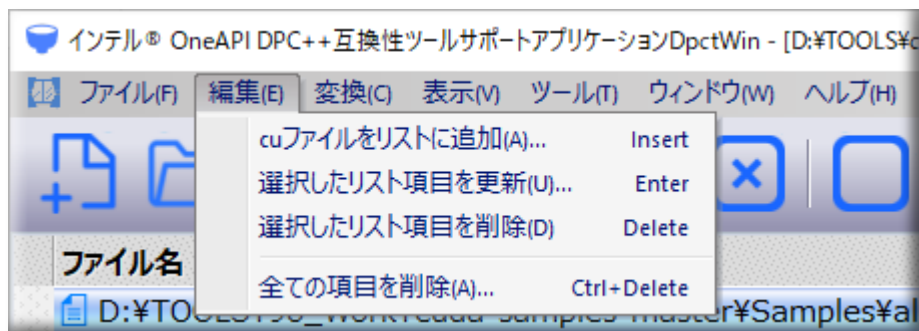
#### 7. アプリケーションの終了

DpctWin を終了します。



## 4.2 「編集」メニュー

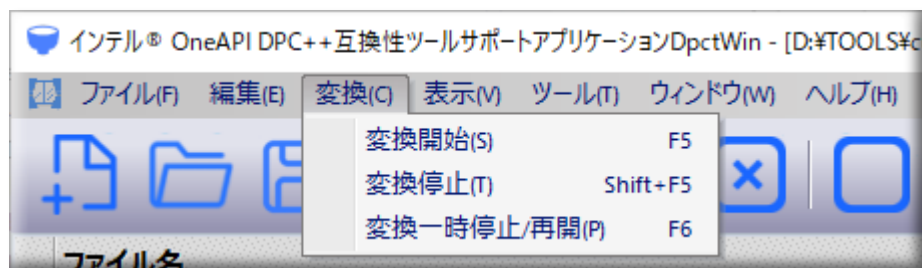
DPC++ファイルへ変換するファイルの登録や変換オプションを編集するメニュー群です。



1. CUDA ファイルを一覧リストに追加  
変換を行う CUDA ファイルの選択と変換するときのオプションを指定します。
2. 選択したリスト項目を更新  
「CUDA ファイルを一覧リストに追加」メニューで追加した項目を再編集できます。
3. 選択した項目を削除  
選択した項目を一覧リストから削除します。
4. 全ての項目を削除  
一覧リスト中の全項目を削除します。

## 4.3 「変換」メニュー

編集した項目に対して変換を行うメニュー群です。



1. 変換開始  
CUDA\*ファイルから DPC++ファイルへの変換を開始します。

## 第4章 メニュー

### 2. 変換停止

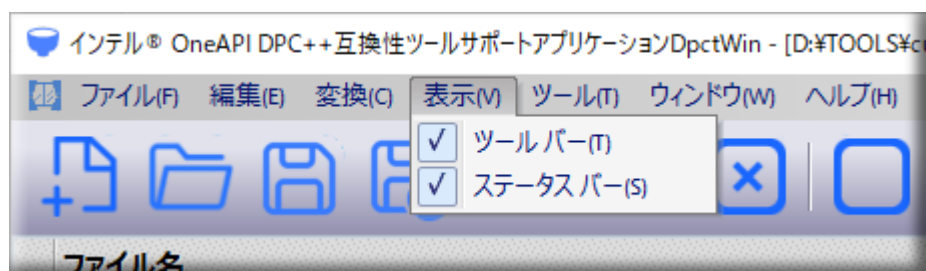
変換処理を停止します。「変換停止」をクリックした時点の変換処理で変換を終了します。

### 3. 変換一時停止/再開

変換処理を一時停止／再開します。

## 4.4 「表示」メニュー

ツールバーやステータスバーの表示／非表示設定、またアプリケーションの外観変更を行うメニュー群です。



#### 1. ツールバーの表示/非表示

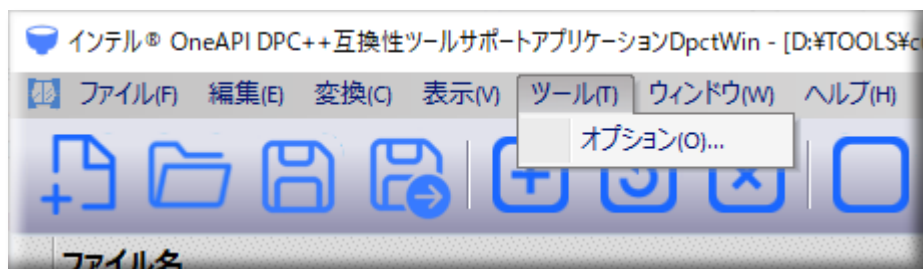
ツールバーの表示／非表示を選択します。

#### 2. ステータスバーの表示/非表示

ステータスバーの表示／非表示を選択します。

## 4.5 「ツール」メニュー

DpctWin の動作環境を設定するメニュー群です。

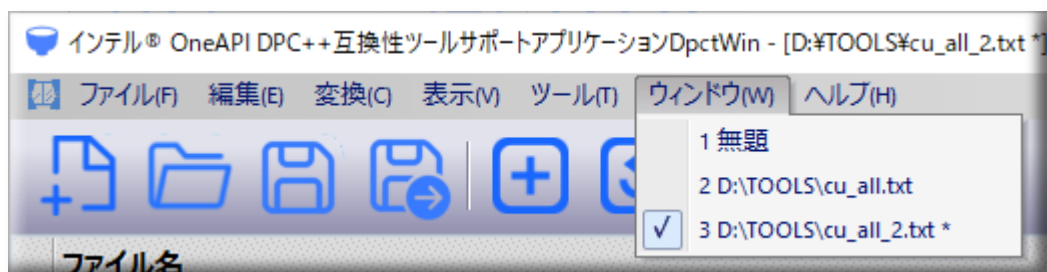


#### 1. オプション

DpctWin の動作環境を設定します。

## 4.6 「ウィンドウ」メニュー

DpctWin で表示しているウィンドウ(=ファイル)を操作するメニュー群です。

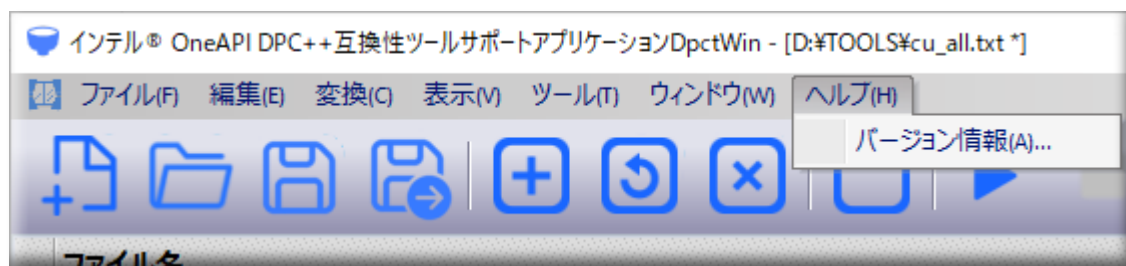


### 1. ウィンドウ一覧

DpctWin で表示しているウィンドウ(=ファイル)の一覧が表示されます。メニューを選択すると選択したウィンドウがアクティブになります。

## 4.7 「ヘルプ」メニュー

DpctWin のバージョン情報等を表示するメニュー群です。



### 1. バージョン情報

DpctWin を構成するアプリケーション、ライブラリのバージョンや dpct のバージョンを表示します。

## 第5章 その他

### 5.1 DpctWin の表示内容について

DpctWin の表示内容について、**日本語以外は機械翻訳しています**。不適切な表現がありましたらご連絡ください。

### 5.2 免責事項

- ✚ 本ソフトウェアを利用して発生した、いかなる損害について著作者は一切の責任を負いません。
- ✚ 著作者はバージョンアップおよび不具合修正の義務を負いません。

### 5.3 問い合わせ

DpctWin に関する問い合わせは、[gray.heron.3710@gmail.com](mailto:gray.heron.3710@gmail.com) まで。

以上